

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		きつずTREE 保育所等訪問		公表日 R8年 2月 20日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 制・ 運 備 營	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		当方で活用している本児に必要なものは提案している。	引き続き継続して実施していく。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		コロナ発生以来、特別支援学校や小学校の受け入れが難しく訪問できる所は限られている。行けるところは増えてきた。	今後も保育者の希望する訪問ができるようお願いしていく。
業務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎日職員同士でその日の情報を共有している。	引き続き継続して実施していく。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		送迎時や面接時には相談ごとなどいつでも受けることを発信している。職員間で情報共有を心掛けている。	引き続き継続して実施していく。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		意見が出た時は代表を交え相談し改善案を立て改善に努めている。	定期的なその様な時間を設けて意見の言いやすい職場作りをし、改善を目指していく。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	外部評価は行っていない。	今回の保護者評価を元に業務の改善を図るとともに、今後第三者による評価の実施について検討します。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		事例検討会など研修会を実施している。また外部研修への参加を奨励し法人が参加費等を一部負担する制度を設けている。	従業員が専門性を向上できるよう事業所内外での研修の実施参加の奨励を行っていきます。
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		医療機関からの指示、発達検査、その本人の特性を考慮し計画する。	今後も継続して実施します。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		直接支援している職員達を集め子供の今の状態を把握し支援計画を作成している。	今後も継続して実施します。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		保育園訪問時に相手(保育園)の時間があれば園長、主任、担任と話し今の状況を聞く。	今後も継続して実施します。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		ケースごとに昼食時など職員皆が集まる時に話し、共有し次回の訪問を考える。	今後も継続して実施します。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		発達検査結果や日常の行動観察を行いアセスメントしている。	今後も継続して実施します。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		園と相談しながらその子供に必要な支援を考えて提供している。	今後も継続して実施します。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		常にその日あった出来事を職員間で共有し問題がないか検討している。	今後も継続して実施します。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		その日の子供の様子を職員間で共有し必要な支援をしている。	今後も継続しながらさらにより良い意思疎通ができる仕組みを検討していきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		職員間でその日あった出来事を共有し、次回の訪問に役立てている。	今後も継続しながらさらにより良い意思疎通ができる仕組みを検討していきます。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		訪問先(保育園)の考えや手法などをよく聞くようにしている。	今後も継続して実施します。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		その日のうちに記録をし、支援の検証改善に努めている。	今後も継続して実施します。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		訪問先(保育園)に毎回話を聞き、に直しは必要か検討している。	今後も継続して実施します。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		子供の事をより理解している職員が参画している。	今後も継続して実施します。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		不登園、虐待が疑われるときには行政と連携して必要な支援を行っている。	今後も継続して実施します。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		会議の場を設定してもらい、情報共有している。	難しいこともあるが保護者様を通してできる情報共有にも努める。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		医療機関とのケース検討や外部研修への参加の奨励を行っている。	医療機関とのケース検討会や外部研修の参加奨励を続ける。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		今のところ参加はできていない。	情報収集やできる範囲で参加を検討していく。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時に近頃の様子を聞き、困りごとなどないか聞いている。	今後も継続して実施します。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		家族に対して困っている行動についての対応(褒める、無視など)ペアレントプログラムにのっとって伝えている。	さらに家族が参加できる勉強会などの企画を検討していきます。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に紙面を用い丁寧な説明をしている。	今後も継続して実施します。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		保育所等訪問支援のことを全く知らない園もあるので電話、訪問(国からの説明文を用いて)説明している。	今後も継続して実施します。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリングの時に確認している。	今後も継続して実施します。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		保護者様の希望により行っている。	今後も継続して実施します。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		半年に1度面談を行い悩みの相談や支援を行っている。	今後も継続して実施します。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		父母の会、保護者会は実施していません。	保護者のニーズをはかり、検討します。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		申し込み時に対応しているが迅速な対応がいくときは可能な限り即時に行っている。	引き続き相談の申し入れがあった場合は迅速に対応していきます。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	定期的な通信等は発行していません。活動予定はその都度紙面でお伝えしています。	今後さらに活動概要や行事予定等を子供や保護者様に発信していきます。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		子供の個人情報使用に関する同意書を保護者様より頂いている。	今後も継続して実施します。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		子供には絵カードを活用し情報を伝達したり、保護者様には面談時だけでなく送迎時や電話の際に親御さんの気持ちに寄り添った意思疎通を心掛けている。	引き続き親御さんとは日々のコミュニケーションを大切にしていき、送迎時にもその日の様子をお伝えし、活動中の写真を撮り、年度を通して3回ほどお渡ししていく。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		訪問先からの相談にはその都度応じ助言や支援を行っている。	すぐに答えられない場合は持ち帰り、他の職員と相談、会議をして改めて助言や支援をしていく。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		保育所、保護者の時間の合うときに行っている。	今後も継続して実施します。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		送迎時などに詳しくお伝えしている。	今後も継続して実施します。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が特定されないよう細心の注意を呼び掛けている。	今後も継続して実施します。

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		相談があれば時間を作り会議や研修会を設けている。	今後も継続して実施します。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		防災についての絵本を見て防災について学び机の下の入り身を守る練習をしている。	今後も防災について学ぶとともに避難訓練を実施します。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		各マニュアルを作成し、運営している。	必要に応じてマニュアルを改訂し、周知徹底を継続します。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットがあるときに即時に行っている。	引き続き継続して実施します。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止の研修に参加し、職員間で情報共有している。	どのような事柄が虐待になるか常に情報を取り入れ、職員間で共有し、今後も研修会に参加していきます。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		基本的に身体拘束する機会はないと考える。散歩時の道路への飛び出しには言葉よりまず手で体を制止し、止められたことを納得するように説明する。	今後必要な場合は、支援計画書に記載し、衝動的な要素が多い動作などは親との話し合いを密にし、対応を考えている。